



人権教育だより

京丹後市立大宮中学校

令和6年 12月 24日

No.17



冬休み直前の HR で「SNS 上でのメッセージのやりとり」について考えました。使用した動画は、警視庁公式チャンネル (YouTube) の少年育成課が作成した、『ネット上の誹謗中傷~その書き込み本当に大丈夫?~』『ネット上のメッセージトラブル~そのメッセージ送っていいの?~』です。また、自分のこととして捉えられるように、中学生が身近に感じる新聞記事や京都人権啓発推進会議が発行している『インターネットと人権』という冊子も使用しました。

近年 SNS での書き込みによるトラブルが大きな社会問題になっており、子どもたち自身も加害者や被害者になる可能性があることから、この教材で文字の伝わり方・送り手と受け手の捉え方の違いについて考えました。

ご家庭でも一緒にご覧になって、意見交流してみてください。

その場、その時の感情だけで行動せず、正しいことなのかを考えたり、冷静になったりすることが大切だと思った。

SNS はよく使うものだから気を付けたいと思った。言葉じゃないと伝わらないことも実際にあるし、意味が伝わるかどうかを考えてから送ることで、トラブルが減ると思った。

これから日常生活で気をつけていきたい。

日頃からスマホに頼ることをなくし、実際の会話の方が何倍も楽しいんだよ!と、使い方を見直す良い機会になった。

今回の動画を見て、私も気を付けなければと思った。私は SNS を使用しているのですが、自分の悪口がネットに拡散されていたらと思うとすごく怖いし、そういうことを平然とやっている人がいるという事実がものすごく怖いと感じた。また、インターネットでの誤解から関係の亀裂を生みだしてしまうということを知って、しっかりと相手に伝わるような言い方を心がけようと思った。

毎日使っているスマホは便利だけど、その分怖さも潜んでいることを改めて実感した。でも使い方によって、加害者にも被害者にもならない。だから、自分がどうやってスマホを使っていくのか考えたい。

相手が、どのように受け取るかをしっかり考えることが大切だと思った。ネット上では相手の顔が見えないので、つつい気持ち大きくなったり、厳しい言葉を使ってしまうことがあるから、顔が見えないから安全ではなく、見えないからこそ言葉を選ぶことを大切にしたい。



インターネットは便利だけど、その分危ないこともあるから、メッセージを送るときは「本当にこの文で誤解はないか」「相手を嫌な気持ちにさせないか」を確認してから送りたい。

ネットを使うときは、特に言葉に気を付けることが大切だと思った。動画の中にあつたメッセージのやりとりでは、自分が思っていた意味とは違う意味で捉えられてしまって誤解を生んでいた。ネットは避けて通れないものなので、「一度書きこみをしたら一生消えない」「誤解を生まないか送るメッセージを読み返す」ことに気を付けたい。

インターネット上では、表情や本当に言いたいことが伝わらなくて、大親友であっても誤解を招いてしまうことがあるから、発信するときは確認をしっかりとってから送るようにしたい。

また、ニュースでも加工されたものもあるから見極める力もつけたい。

たとえ自分が本当にイラついたり、勘違いによるけんかになつたりしても、相手が送ってきた文章や言葉などを鵜呑みにせず、言葉の本意を読むことを頑張っていきたい。インターネットによるトラブルは本当にたくさんあり、話を聞いたり傍観者として目の当たりにしたりしたこともあります。自分が広げない、起こさない、巻き込まれない様に、注意しながらインターネットと付き合っていきたい。

最近頻繁に使うようになっていくインターネットは危険がたくさんということが分かった。

顔が分からなくても投稿したら、それはデジタルタトゥーとして残ってしまうので、今日習ったルールを忘れずに活用していきたい。



SNS 上では相手の表情がわからないし、相手の感情もわからない。どう文字として表現すればいいのか、わからない時もある。話せばもっと簡単に理解できるのにも思うこともある。SNS 上での会話は残ってしまうものだから、普通に話すとき以上に気を付けたい。

SNS 上で発信するときは、普通に話すときと違って見直しができるから、発信する前に確認したい。

SNS は簡単に顔も知らない会ったこともない人ともつながれるし、違う名前を使うこともできるという怖いものでもある。違う名前を使ってまで発信しなければならないようなことは発信しない方がいいことが今日の授業を通して分かった。

私は正しく SNS を使いたい。

今回ネットリテラシーについて学んで、ネットだからこそ上手く伝わらないことがあるので、詳しく補足することで問題が起らないようにしたい。また、もし誹謗中傷のようなコメントを見ても、盛り上げたり便乗したりすることがないようにしたいし、私自身も投稿しないようにしたい。ネットでも、相手を思いやる心を持ちたい。



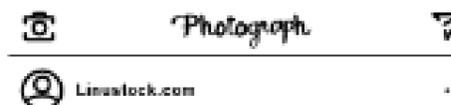
日頃からよく SNS を使って会話をする中で、言葉によるすれ違いが起こることがある。仲のいい友達でも、ちょっとした勘違いで縁が切れることもあるので、送る前に確認して送りたい。また、遊んだ時の写真は、いつも本人に許可を取ってから載せているけど、それが大事だなと思った。

自分事としてしっかり考えられた。直接話すときは誤解が生まれない言葉でも、SNS で話すときは読み方や捉え方で人が傷ついてしまうことが分かった。SNS をするとき、送る前にもう一度読み直してから送るようにしたい。

スマホは便利な分、使い方を間違えると人が傷ついたり、自分が傷ついたりするから気を付けて使う。

インターネットでの誹謗中傷や連絡での文字の誤解に気を付けたいと思った。誹謗中傷は人を傷つける行為だから、絶対にしてはいけないと改めて思った。自分もしないように気を付けたい。

連絡をするときに、文字は話すときと違い、誤解になりやすいと気付いた。誤解にならないように確認してから送信したり、誤解になってしまったら謝って事実を言ったりして気を付けたい。



人権のつどい第 I 部の作文「画面の向こうの気持ち」は今回の学習と似た部分があったと思います。

第 I 部の感想は共感の嵐でした。今回も自分事として、しっかりと考えられた人が多くいたことを嬉しく思います。

冬休みはスマホを手にする時間がきっと増えると思うので、今日の学習を生かしましょう!

